

令和 8 年 6 月議会定例会一般質問

No. 1
通告順

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
<p>1. 役場への問合せ、意見等の電話について</p> <p>2. 住んで良かった南木曾町にするために</p>	<p>ハラスメントと受け取れるような電話の対応は業務の支障になるだけではなく対応する職員さんのストレスの原因にもなり健全な職場環境の妨げになると思います。</p> <p>現在そのような電話はどのような状況でしょうか。</p> <p>社会保険料を含む税金の負担額が年々増え続けています。</p> <p>そんな中、南木曾町に住むメリットとして地方自治体が税率を策定できる地方税の負担を減らすような施策は取れないだろうか。といったところで確認をしたいのですが、町が管理する地方税で一般税率に対し負担増になっているものはありますか。</p> <p>また、もしそのような地方税があれば近隣市町村との比較も教えてください。</p>	<p>2 番 藤原 昭次</p>
<p>1. 集会所の改修、照明 LED 化について</p> <p>2. 道路使用許可、運転免許証返納について</p>	<p>助成を願う。</p> <p>交番でできるようにしてほしい。</p>	<p>9 番 高橋 進</p>
<p>1. 町の財政規律への取り組みについて</p>	<p>令和 8 年に入ってこれまでの円安に加え中東での政情不安が加わり、輸入物価の上昇と物の不足が顕著になっている。</p> <p>町も総合計画の予測のように人口減少が進展する中で、他市町村と協調して広域的に行財政運営を行うことは必要だが、町として独自に工夫して削減または増収を図る財政規律への取り組みを顕著に図るべきと思うがどうか。</p> <p>(例示)</p> <p>①事務事業に対する職員からの「改善提案制度」</p> <p>②長野県も検討を始めた基金の一括運用、公表</p> <p>③その他身近で実施可能な削減・増収への工夫</p>	<p>8 番 山崎 隆二</p>

質問事項	質問の要旨	質問者
2. 教育環境に今後必要なもの	<p>いわゆるコロナ禍を一つの契機に、教え方も学び方も変化してきた昨今、将来を担う子供たちを育てる教育環境に今後必要なものは何か。</p> <p>(例示)</p> <ul style="list-style-type: none">①直面している保・小・中学校の施設面の課題②少人数化、部活動の地域化に対する課題③学び方が多様化してくる今後の教育体制の在り方	8番 山崎 隆二
1. 町政の情報公表と検討事項の進捗について	<p>今回の一般質問では、南木曾町における情報公表のあり方について伺います。町政への信頼は、行政が何を把握し、何を検討し、どこまで進んでいるのかが、町民に分かる形で示されることによって支えられるものだと考えます。単に情報が公表されているかどうかではなく、町民が役場の状態や政策の進み具合を判断できるだけの情報になっているのか。つまり今回は、南木曾町の情報公表の質について、具体的な事例を通して伺います。</p> <p>(1)鳥獣被害情報の収集体制について</p> <p>以前の一般質問において、LINE等を活用して住民から鳥獣被害状況の情報提供を受け取る仕組みについて伺いましたが、その後の検討状況はどうなっているか。</p> <p>(2)人事行政情報の公表について</p> <p>人事行政の運営等の状況では、一般職員の級別職員数と構成比が示されています。しかし、級別ごとの女性職員の割合は示されていません。現在、一般職員の級別ごとの女性職員数および女性割合はどうなっているのか。</p> <p>また、今後、人事行政情報の中で級別ごとの男女別人数や女性割合を公表する考えはあるか伺います。</p>	1番 山下 航

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
1. 町政の情報公表と検討事項の進捗について	<p>(3)財政情報の公表について</p> <p>当初予算等については、広報なぎそ、ホームページなどを通じて公表されています。しかし、町民の立場から見ると事業名と予算額だけでは分かりにくい部分があります。</p> <p>町民が町政を判断するためには、事業の目的、内容、財源、補正理由、今後の影響などが分かる説明資料も必要ではないかと考えます。大阪府のように予算編成過程を詳しく公表している自治体もあります。まずは現在できる範囲から、予算情報をより分かりやすく示していくことが大切だと考えます。町民が事業の中身を理解できるよう、予算説明資料やホームページでの公表内容を改善していく考えはあるか伺います。</p>	1 番 山下 航
1. 防災について	<p>(1)妻籠宿の地震対策の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南海地震や木曾山脈西部断層帯での地震の町への影響 ・ 妻籠宿の耐震性判定と被害想定と対策の現状 ・ 建物や中山道など資源の維持があって成り立つ観光を ・ 妻籠宿の地震への備えを <p>(2)「押出北」地域の開発への対応</p> <p>①当初は窯業材料採取箇所として林地開発を行った場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発行為に対する町と業者との申し合わせ内容 ・ 採取跡地の斜面の安定化と基金の行方は ・ 事業撤退後の採取箇所の状況確認はどうなっているか <ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面の安定化、緑化などは完了したか <p>②リニア発生土置き場としての「押出北」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境保全計画書」には復旧が一部完了していないとあるが、どの部分か。 ・ 事業者が変わり、当初の申し合わせとの関係はどうなったのか。町の責任は終わっているのか。 ・ 新たな林地開発が始まるが、町は防災の視点から採石跡地の利用計画についてどのような検討をしたか。 <p>③防災の視点から「押出北」の盛土計画は、補強土壁の安定性への懸念・補強盛土の維持管理計画の不備などに加え、町は多くの豪雨災害の歴史があり、大規模盛土は災害リスクを増すことにつながり見直しを求める。</p>	7 番 坂本 満

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
1. 防災について 2. 国民健康保険について	(3)地域の防災と防災士について ・南木曾町や木曾郡での防災士の状況は ・防災士の役割から資格取得の支援はできないか (1)国民健康保険税の住民負担の状況 ・子ども子育て支援金追加の意図 ・今年度から税に追加・・・さらに増額 ・独身者や大学生のいる世帯の負担増加 ・健康法等改正による影響は ・OTC 類似薬の保険給付見直し ・18 才までの均等割負担の低減 ・財政安定化基金の運用見直しなど (2)住民負担の軽減を ・子どもへの均等割負担をなくす ・基金の運用見直しによる国保税負担の軽減の検討を	7 番 坂本 満
1. 持続可能な町営簡易水道事業について 2. 小規模水道をどう守るか	簡易水道は、安心・安全な水道水を町民に提供するライフラインとして生活に欠かすことのできないものです。 近年、人口が減り水道料金が減少する中でこれからも安定した水道経営を維持していくために簡易水道の現状、財政状況と広域連携、管路図のデジタル化についてどのように考えているか。 南木曾町には、簡易水道のほかに地域で維持管理している小規模水道があるが、その現状と今後についてどのように考えているか。	4 番 近藤 隆

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
<p>1. インバウンドによる現在の状況と中山道の整備について</p>	<p>(1) インバウンドによる現在の状況を町は把握しているか。 特に馬籠から妻籠間は、オーバーツーリズムと言っても過言ではない状況にあり、中山道沿線の住民は我慢を強いられている。</p> <p>(2) これだけ多くの方が歩けば、道も傷み、修復も必要であり、周辺の草刈りも必要だ。 現時点では住民にお任せの草刈り等も今後は高齢化によりできなくなるが、いったい誰がやるのか。このまま沿線住民任せにするのか。</p>	<p>3 番 伊藤 寿子</p>
<p>1. 中学校の部活について</p>	<p>(1) 生徒数が減少する中どのように競技の選択肢を維持していくのか。</p> <p>(2) 町村を超えて部活を一緒にできないか</p> <p>(3) 早く進めるべきではないか</p>	<p>6 番 松原 崇文</p>